

令和6年度 公益社団法人曾於医師会 事業計画書

はじめに

会員の先生におかれましては、常日頃から曾於地区の保健・医療・介護など多方面にわたり御尽力いただき衷心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に感染症法上の位置づけが2類相当から5類に変更されましたが、現在その第10波を迎えているようです。曾於地区においても、新型コロナウイルス感染症の外来対応医療機関に多数の医療機関が参加していただいています。我が国は、国際的にみても新型コロナ感染による人口当たりの死亡者数は非常に低く優秀な医療実績を示してきました。これは、会員をはじめとする先生方の医療に対する懸命な対応の賜物と考えています。しかし、現在流行しているオミクロン株は、絶えず変異を続け当初の株より明らかに弱くなっていますが、高齢者や免疫の低下した方々にとっては未だに油断できないウイルスであり今後も注意していかねばならないと思っています。

令和6年度の診療報酬改定の本体改定率は0.88%増に決まりました。初・再診料や入院基本料といった基本的な報酬を引き上げるプラス査定がある一方で、医療費の伸びを抑える為に「特定疾患療養管理料」の対象から高血圧症等の除外や外来管理料・処方箋料等の適正化によるマイナス査定があるようです。特に今回の改定では、診療所経営に対する影響が大きいといわれています。又、マイナンバー保険証の利用促進や収益増収分が確実に賃上げに回るよう医療機関には賃上げに関する報告を求める内容等もあります。医師会立共同利用施設を含めた医療機関が、診療報酬改定によって経営が圧迫される事がないように、又運営上の混乱を招かないように対策を考えていかねばなりません。

本年4月より第8次医療計画が開始されます。新たに盛り込まれた新興感染症への対策以外に、地域医療構想、外来医療、在宅医療、救急・災害医療等が総合的に実施されます。我々曾於医師会は、地元に適した持続可能な医療体制を構築していく所存です。

今後も会員の先生方におかれては、医師会活動へのご理解とご協力を切にお願いする次第であります。

公益社団法人曾於医師会
会長 手塚 善久

事業内容

- (1) 医道の高揚に関する事業
 - (a) 曾於医療圏の医療関連情報の整備

- (2) 医療の普及充実に関する事業
 - (a) 地域医療の充実強化に関する事業
 - (b) 地域医療に関する事業
 - ・日曜在宅当番医制度の維持・向上
 - ・夜間急病センター・救急情報センターの維持・向上
 - (c) 各種健診に関する事業

- (d) 予防医学に関する事業
- (e) 公衆衛生に関する事業
- (f) 災害医学に関する事業
- (g) 産業保健衛生に関する事業
- (h) 学校保健に関する事業
- (i) 大学の医学教育に関する事業

(3) 医師の卒後教育に関する事業

(4) 共同利用施設の運営に関する事業

- (a) 病院運営に関する事業
- (b) 介護老人保健施設の運営に関する事業
- (c) 訪問看護ステーションの運営に関する事業
- (d) 居宅介護支援事業の運営に関する事業

(5) 委託事業の運営に関する事業

- (a) 地域産業保健センターの運営に関する事業
- (b) 医療介護連携事業の運営に関する事業
- (c) その他委託事業の運営に関する事業